

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発！

日刊労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939番
(公) 043(222)7207番

2022.7.12 No. 5164



第18回定期総会を開催 サーカル協

六月十五日、十三時より、動労千葉仮事務所に於いて、第十八回動労千葉サークル協議会定期総会が開催された。

まず、司会の後藤副議長により議事は進行され、その後、田中書記長によるあいさつを受けた。

『このサークル活動が、今でも続いているのは、動労千葉の団結の力だ。今は、一年間で、ボウリング大会・地引き網大会・ゴルフ大会・団結運動会の四つの行事しか出来ていないが、これまで取り組んでいた、囲碁・将棋大会や麻雀大会等もまた、

行なっていきたい。そして、サーカル活動を通して組織拡大を勝ちとり、新たな行事も増やしながら、これからも意氣軒高に活動していく』と、これからは組みを訴えた。

その後、過去三年間の経過及び、決算報告・会計監査報告を一括して行い、二〇〇〇年度活動方針及び予算を採択し、総会は終了した。

この伝統あるサークル協議会を新しくなった『DC会館』、そして、動労千葉と共に発展させ、組織強化拡大を勝ちとろう。

地引き網大会
あつまろう
○7月16日(日)9時
九十九里一松海岸
○海の家「あいの」

7・8狭山闘争

～異議審勝利を誓う！

「三里塚が勝てば世の中変わる」（北原事務局長）

-7・2集会うちぬく-

七月二日、成田市東峰において、三里塚芝山連合空港反対同盟主催による「暫定滑走路建設阻止、農家追い出しの軒先工事粉碎」三里塚現地総決起集会が約五百名の結集で開催された。報告を行い、「三四年前の七月閣議決定され、過ちがここから始まつた。空港を粉碎しなければ日本の未来はない。沖縄サミット、八・六広島一・八・九長崎、九・三闘争を全力で闘おう。まづ三里塚が勝利すること世の中をかえることになる」と訴えた。

つづいて特別報告にたつた田中書記長は、「三里塚が勝てば世の中変わる」と、心からの怒りをしぶつけた。

七月八日、午後一時三十分より、千駄ヶ谷区民会館に於いて、部落解放同盟全国連合会は「高木決定一カ年糾弾！異議審闘争勝利！七・八狭山中央闘争」に解放共闘の仲間と共に、総勢二十五〇名が決起した。

集会では、全国連の仲間より、「一年前の七月八日を絶対に忘れるることはできない。一度の事実調べも行なわずに、無実の石川一雄さんを三十七年間も獄中に叩き込んだ、東京高裁高木俊夫裁判長による決定に対し、満腔の怒りをもつて弾劾する。後を継いだ高橋省吾裁判長も、事実調べを一度も行なっていない。このような高橋裁判長による早期棄却決定を許さず、この七

中書記長は、「三里塚、国鉄ともに勝利してきている。きのう国鉄闘争は、大きな勝利の一歩を歩き始めた。国労が一〇四七名の採用差別について『JRにたならば、それは解雇をみとめ、労働者の魂をうることになる。国労臨時大会は、怒りの声に包まれ、本部提案を採択できず休まず、組織強化拡大を勝ちとろう」とり報告を行い、北原事務局長が基調報告を行い、「三四年前の七月閣議決定され、過ちがここから始まつた。空港を粉碎しなければ日本の未来はない。沖縄サミット、八・六広島一・八・九長崎、九・三闘争を全力で闘おう。まづ三里塚が勝利すること世の中をかえることになる」と訴えた。

集会終了後、参加者は「暫定滑走路建設阻止、農地死守」を労働者を創り上げる時代に亘る新時代の動労千葉を代表して、滝口誠執行委員が登壇し、「上通用告棄却一年、悔しさ、怒りを胸に、新たな闘いを決意している時石川一雄さんに、唯一正面から争いに応え、闘い続けている全国連と共に原点に立ち返り、われわれ業も闘う。新しく建つたDC会館失業を団結の砦として、国鉄闘争勝利、沖縄サミット反対一反戦・侵略阻止に向けて、共に闘おう」と訴えた。

集会後、全員がゼッケン・はちまきで身をつつみ、沿道から拍手に送られながら戦闘的なデモを貫徹し、七・八集会を打ち抜いた。